



川俣小学校「学校だより」
輝くひとみ

令和5年1月10日(水) 第20号

みんなでのびる

☆高め合う子

☆助け合う子

☆きたえ合う子

発行者 校長 小野真教

新年明けましておめでとーございませう

新年明けましておめでとーございませう。本年もよろしくお願ひいたしませう。

いよいよ第3学期が始まり、元気な子どもたちの姿が学校に戻ってきませう。昨日の始業式は、子どもたちの体調を考慮して放送で行いませう。冬季休業中、大きな事故やけががなく大変安心しませう。しかし、昨年末から続いているインフルエンザの流行はとどまる気配がありません。引き続きうがい、手洗いを励行していませう。ご家庭でもご協力をお願ひいたしませう。

さて、第3学期は再編川俣小学校2年目のまとめの学期となります。教職員が一丸となり、2学期に表出したいじめ等の問題が起きないように力を尽くしていませう。

また、第3学期は、来年度の学校運営に関わるいろいろな計画を策定する大切な時期です。保護者の皆様の学校評価のご意見、国・県・町の教育の施策等を踏まえ、さらには、令和5年度の教育活動の反省を十分に考慮し計画を策定していませう。

始業式における校長の話を掲載しませう。



<校長より>

□皆さん、冬休みは楽しく過ごせませうか。年末年始はどうしても生活が乱れがちだと思ひませうが、いよいよ3学期です。気持ちを切り替えてしっかり過ごしましませう。

□3学期は51日間です。あっという間に過ぎ去っていませう。

□1・2学期の自分の学校生活を振り返り、「ここができていなかっただなあ、これをやってみよう」というめあてをもって過ごしましませう。

□これから各学級で自分のめあてをしっかりと考えてください。

□1日1日を何となく過ごすか、毎日自分のめあてを意識して過ごすかでは、3学期の終わりに大きな差が生まれます。

□進級・進学した4月からの学校生活につながるのは、3学期の皆さんの学校生活です。

□さて、昨年の3学期の始業式で暦、カレンダーについての話をしませう。

□暦、カレンダーには、二十四節季が書かれていて、春夏秋冬の四季をそれぞれの季節ごとに6つに分け、全部で24に季節が分けられているという話でした。

□思い出してみませう。1月5日「小寒」、寒さの入り口で寒さが増してくる時期です。1月20日「大寒」、1年で1番寒さが厳しくなる頃です。2月4日「立春」、ここから春です。2月6日「啓蟄」、土の中で冬ごもりしていた生き物が目覚める頃です。3月21日「春分」、昼と夜の長さが同じになり、自然をたたえ、生物をいつくしむ日です。ここから昼が夜より長くなります。

□このような話でしたが、思い出しませうか。今年は1月から12月まで呼び方があることを紹介しませう。

□校長先生が1月から3月まで紹介しませうので、興味のある人は4月から12月までの呼び方と、なぜそう言われているのかを調べてみてください。

□では、まず1月です。1月は「睦月」と呼ばれていませう。

□なぜかという、1月はお正月など親戚や知り合いの人がお互いに行き来し、仲睦まじくすることから、睦まじい月なので睦月と呼ばれているようです。

□次に、2月です。2月は「如月」です。

□これは、いろいろな説がありますが、木更着(寒さゆえに、着物を重ねて着たという意味)というところから、衣更着(きさらぎ)となり、漢字で「如月」と書くようになりました。古く中国では2月を「如」と表していたからと言われているようです。

□最後に3月です。3月は「弥生」です。草木がいよいよ生ひ茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひつき)」が詰まって「やよい(ひ)」となったようです。

□月の呼び方を調べてみると、いろいろな説があるようです。

□ぜひ、二十四節季と月の呼び方を調べてみてみてください。

□最後に、みなさんにとって実り多い3学期になることを期待していませう。